



2021.9.12

## ニリンソウ自生地保護 活動情報

赤塚公園ニリンソウ  
を守る会

編集責任：運営サポーター／  
木村松夫 090-8646-9757  
akatsukanironso@gmail.com



### ・ニリンソウを守る会の活動

秋の手入れ活動は10/10（日）再開

10：00 大門地区観察台集合

10/17 赤塚公園どんぐりまつり

10：00～15：00 中央地区サービスセンター前  
（スタッフは9：30 集合）

11月の手入れ活動予定

11/7、11/14、11/21

いずれも日曜日 10：00 大門観察台集合

# 保護活動の秋 9/12 順調にスタート



今年の保護活動は4月以来休止していて、9/12は約半年ぶりの例会でした。どのくらいの方が集まってくれるのか心配だったのですが、「待ってました」とばかりに20名の方がいらっしゃいました。

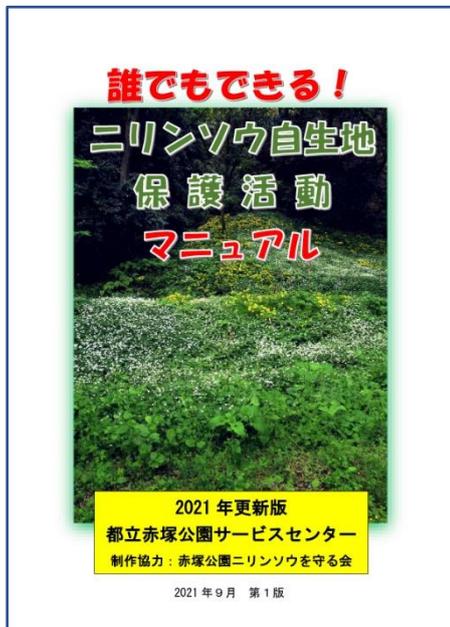
自生地の野草は、まだ活性期にあるので草刈りはできません。実際の手入れ活動は10月半ばからになります。この日は秋の手入れ活動のために、昨年の経験を振り返って今年の課題を確認しながら、自生地の観察を行いました。



「保護活動マニュアル」を作成し、

誰でも取り組みやすいようにしました

ここでのニリンソウ保護活動が始まって39年目になりますが、この間、その方法や考え方の基本は継承されてきました。2014年には保護活動マニュアルがつくられていましたが、今年はそれを底本にしながらか近年の経験を基にした『保護活動マニュアル2021年版』を新たに作成、また、保護活動に関わるみなさんの理解が得やすいようにマニュアルに記載された植物約80種の写真集



などを別冊として作成しました。これを参考にすれば、初心者でも容易に手入れ活動を行うことができるようにしました。

保護活動の担い手は参加者一人ひとりの自主活動の集合で行ってきているのですが、赤塚公園サービスセンターの支援体制もいっそう強化され、マニュアル本体の制作はセンターが引き受けてくれました。

←『ニリンソウ自生地保護活動マニュアル 2021年版』 保護活動に参加していただける方には全員に無料で差し上げています

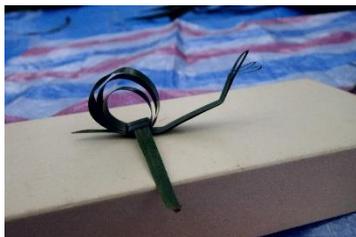


### サービスセンターの支援体制がさらに強化

ヤブミョウガは夏の大門を代表する植物ですが、この数年は自生地全体に広がって異様な繁殖。林床に光が射すのを妨げていて、コントロールをしなければならなくなってきました。守る会は夏の期間は活動休止していたので、センターの事業としてヤブミョウガの抜き取りが行われました。上の写真は抜き取り後の状態ですが、確かに野草が生えていません。来年は、早い時期からヤブミョウガのコントロールをしようと話し合いました。

上の写真は抜き取り後の状態ですが、確かに野草が生えていません。来年は、早い時期からヤブミョウガのコントロールをしようと話し合いました。

### どんぐりまつり（10/7）のための練習もしました



昨年は新型コロナウイルスの蔓延で中止となった赤塚公園どんぐりまつりですが、今年は開催予定。守る会は宮澤さんのご指導で「シュロの葉ででんでん虫」づくりを行います。この日はその練習も行いました。

### <大門自生地で目立っている花・実>



←ヌスビトハギ 林内には大きな株にたくさんのピンク色の花をつけています。 ノブキの実→ 野菜の蓆に似た丸い葉なので見つけやすいです。固い毛が四方に伸びる実が見もの。

